

会 議 報 告 書

主催者名	匹見総合支所住民福祉課
会 議 名	平成 26 年度 第 1 回 匹見地域協議会
開催日時	平成 26 年 4 月 22 日 (火) 14 時 00 分～17 時 15 分
開催場所	益田市匹見総合支所 大会議室
出席者	<ul style="list-style-type: none">・ 匹見地域協議会委員 (6 名)・ 市長、政策企画局長、人口拡大課長・ 匹見総合支所：長谷川支所長 住民福祉課：靱田課長、藤井補佐、三嶋 地域づくり推進課：村上課長 建設課：露口課長

【報告事項】

(1) 人口拡大計画について<資料 1 市長より説明>

- ・ 計画書概要説明。

≪ 質疑・意見 ≫

UI ターン者応援事業について

- 進学のため県外に出ていた子どもが帰ってくる場合も該当するのか。
 - ▷ 大学卒業後すぐは対象外。転出（住民票上）後 5 年経過後に帰った方を対象としている。不公平感はあるかもしれないが、線引きは必要。また、予算を投入して UI ターンを呼び込むということを大々的に発信することも目的の一つ。
- I ターンでわさびに取り組む人は国の青年就農給付金を受け、生計をたてている。子育て世代が多く、生活は決して楽ではない。そうした中、わさび振興も少しずつ前進しているが、もし給付金が終わった時にどうなるのか。匹見から離れてしまわないか。そのとき、市は一体どれだけの対策を講じることができるのか。
 - ▷ 今回打ち出した UI ターン者応援事業も児童医療費助成事業もこの先ずっとあるものではない。では何ができるかという、どんな職種であれ自らお金を稼ぎ生活を維持するための仕組みを作るお手伝いということになる。匹見独自の資源を住民自らがお金にかえる道筋をつけるのが市の役割と考えている。直接の生活費補てんはできないが、話をしながら検討させていただきたい。
- 金の切れ目が縁の切れ目にならないように。

児童医療費助成事業について

- 保育料無料化も一つの手だと思うが。
- 自己負担が安くなることによって逆に医療費が高くなり、医療従事者の負担増もあるのでは。
 - ▷ 制度導入前に医師などにアンケートを行い、その結果この事業内容でいくことを決めている。もちろんコンビニ受診等が増えてはいけない。そうしたことから、医療を守る市民の会と協力し、適正診療の呼びかけを適宜行っている。

その他について

- UI ターンを促進しても雇用の場が必要だが、臨空ファクトリーパークの状況は？また、企業の立地条件として道路網の良し悪しが大きい要素と考えるが、そのことについていかがか。
 - ▷ おととし2企業が進出し、今年1企業が工場建設しているところ。別場所でも新工場を建設している企業もある。道路整備については、国・県への要望に25年度から立地企業連絡会に同行してもらうなど幅広い声を届けている。
- 今後木材需要が高まることが期待されるが、造林班の改組などは考えているのか。造林・わさびは匹見にとって大きな雇用の場となり得る。この計画の中では事業実施について記載があるが、雇用対策のところまでは触れられていないように感じる。
 - ▷ 林業については、自ら高く売れる市場を開拓して売る、自伐型林業にシフトしていくような仕組みづくりを進めていくこととしている。
- わさびも苦戦している。山と併用、つまり造林もするわさびもするというような方法も考えられる。いずれにしても複合的な考え方で、雇用の場確保にもつなげていただきたい。
- 歴史については首長の意見が大きく左右されるというが、匹見の縄文遺跡についてまったく触れられていない。中世だけが重要というような気がしてしまうが。
 - ▷ 決して中世遺跡に価値があって縄文遺跡に価値がないということではない。ただ、専門家から見て中世は遺跡と文書がセットになっているということで価値があると言われており、面白いとは思っている。この計画は、掲載について取捨選択をした結果であり、掲載していないから何もしないということではないことをご理解いただきたい。

(2) 平成 26 年度主要事業について<資料 1 住民福祉課長より説明>

- ・ 予算概要説明。

(3) 平成 25 年度地域振興補助金について<資料 1 地域づくり推進課長より説明>

- ・ 実績説明。

(4) 平成 25 年度地域力アップ応援事業補助金について<資料 1 地域づくり推進課長より説明>

- ・ 実績説明。

≪ 質疑・意見 ≫

- 担当課のチェックは入っているのか。
 - ▷ 最終的には本庁地域振興課（当時）が確認している。
- 地域づくり事業である以上担当課は活用についてきちんとみておく必要がある。留意願いたい。

【意見交換会】

豪雪センターバス利用について

- 以前より利用条件が厳しくなった気がする。慰霊祭は宗教的行事ということで断られたが、どうも納得がいかないが。
 - ▷ 現在市有バスということで火葬時の利用 については不可としているが、その他について運用上変更はしていない。宗教的行事については以前から不可としている。
- 慰霊祭は宗教的行事とは思えない。参加者も高齢で、バスなくして参加しづらい状況がある。市長もこの前参加しているがどうお考えか。
 - ▷ 確かに神社のお祭りとは違うものかもしれないが、難しいところ。
 - ▷ バスも更新するというので、この機に利用規定を整理させていただき再度ご報告させていただきたい。ただ、今回については神社から慰霊祭という形で申請があり、市主催の戦没慰霊祭とは意味合いが違うためお断りした。
- 公共交通機関が恵まれない地域については何らか融通していただけるとありがたい。市内で催しがあっても行きたくても行けない高齢者は大勢いる。緩やかな規定をお願いしたい。

合併調整に係る懸案事項について

- 合併して10年経ち、何も進んでいない、予算もついていない事業がいくつかある。全体を見た中で○△×でもいい、今後の見通しを出してはどうか。
 - ▷ 積み残し課題も含め、顧問制度と地域協議会のあり方、匹見地域の皆さんのお考えを市政にどう反映していくか、地域の実情を考慮しながら何らか案を示したいと思っている。26年度中に方向性を出すべく諮問させていただきたいと考えている。よろしくをお願いしたい。
- 合併時の課題で実りつつあるのはグリーンライン90だけではないか。他は尻すぼみに感じる。これではまずいのではないか。
- 同感。市が事業継続の可否を示すのか、それとも地域として叩き台を作るのか、やり方は色々あると思うが、協議していくべき。
- 匹見は道路を良くしてもらっているから何も言わないが、道路さえやっておけばいいというわけではない。ただ、粘り勝ち、言ったもん勝ちという形にしてはいけないと思う。行政上の判断はそれはそれとしてきちんと理論づけて説明して住民を納得させるべき。

道の駅について

- 委託料が美都と比べて低い。不公平に感じる。
- 客観的に見て道川は地理的にも利用度は高いと思う。しかし投じる予算に差が大きいのは何か経過があるのか。
 - ▷ 美都については、道の駅として存続するために予算を付けた。幸い道川は地理的条件などの前提が良かったため現状のままで問題がない。あくまで道の駅としての看板を維持するための方策であり、比較するものではないと考えている。
- 地域が主体的に人口拡大施策として事業提案してきた場合は対応するのか。
 - ▷ 対応する。
 - ▷ 美都について、未来永劫残すという最終決定をしたわけではない。そのことはご理解いただきたい。

温泉について

- 割引制度廃止によって600円にしたら誰も入らなくなるのでは。町民の健康増進のための施設という目的が達成できなくなると思う。何か方策はないのか。
 - ▷ 指定管理の見直しに合わせ、一般利用料等含めた料金体系の見直しを今年度行うこととしている。その中で今後の料金をお示ししていきたい。
- 匹見に温泉があるのとないのとでは大きく違う。そうした実情をきちんと理解していただきたい。

行財政改革について

- 経常収支比率を下げる方策は？内部としてどのような協議をしているのか。行財政改革を進める中でまだ打つ手がある状況なのかどうなのか。
 - ▷ ここまででもかなり固定費を削ってきているのは確か。あとは補助金交付金を引っ張ってくるなどがあるが。

UI ターン者への対応について

- 国の青年給付金150万は年2回に分けて給付される。しかしそれでは生活設計が立てにくいのが現状。そこをフォローしているのは受入農家。果たしてそれでいいのか。何か対策を講じていただきたい。
 - ▷ 非常に重要な視点だと思う。UI ターン者が地域で生活していけることが定住につながる。そうした中、市としてできることは生活ができる仕掛けづくりに投資していくことになると思う。
- 受入側は、給付が出るまで立替えたりしている。それは決して楽なことではない。だからこそUI ターン者にはそれなりの覚悟がいるし、市としても相談があった際にはきちんと話をしていきたい。
 - ▷ 現状でももちろん相談は受け、厳しい実情も伝えている。単純に奨励しているわけではないが、最終的には本人判断によるところとなっている。